

2022年2月11日(金曜日)の下野新聞に 「自宅療養者への支援」について掲載されました!

2022年(令和4年)2月11日(金曜日)

下野新聞

負けない

新型コロナ

【那須塩原】新型コロナウイルス感染拡大で増えつつある自宅療養者を支援しようと、東小屋の「パン・アキモト」は10日、非常食用のパンの缶詰560個を市に寄贈した。同社の「救缶鳥プロジェクト」の一環。これまでは企業や学校に販売した缶詰を賞味期限が切れる約半年前に回収し、飢餓や災害で苦しむ国内外の地域に届けてきたが、コロナ禍でアフリカ方面への船便が止まっていることから自宅療養者に対する食料品支援に役立ててもらおうとした。

自宅療養者へ缶詰パン 那須塩原



渡辺副市長(左)に缶詰パンを手渡すパン・アキモトの秋元社長

「アキモト」、市に560個寄贈

市役所を訪れた同社の秋元義彦社長(68)は「今は誰かが、いつコロナに感染してもおかしくない。この取り組みから業による支援の輪が広がればうれしい」と期待を寄せた。渡辺和明副市長は「市として自宅療養者

の買い物代行などを行っているが、おいしいものを届けられるのはありがたい」と述べた。同社は市以外にも県庁に450個、大田原市に390個、新潟県新発田市に600個の缶詰を送っている。(生澤一浩)